

歴史公文書から見た昭和の大合併「久喜地区編」

— 評価選別の成果と行政資料の数々 —

久喜市公文書館 令和3年度企画展（第11回）



「合併祝賀会の様子」(No.5676)

令和3年

12/1^水 ~

令和4年

3/31^木

企画展開催にあたって

旧久喜市に公文書を効率的に管理するためのしくみであるファイリングシステムが導入されたのは昭和59年度のことです。

それ以前の公文書については、昭和20年代から昭和58年度以前のものが約7,000点遺されていました。これらの公文書は、平成25年度から令和2年度まで約8年間にわたり、1点1点評価し、選別を行い、久喜市の歩みを知る上で重要となるもの5,869点を歴史公文書として後世に遺していくよう保存しています。

今回の企画展では、評価選別された旧久喜市の歴史公文書のうち、昭和29年に行われた昭和の大合併の際、久喜町・清久村・太田村・江面村が合併し、新しい久喜町が誕生した資料を展示し、当時の様子を振り返ります。

本企画展を通して、市民の皆様が久喜市への理解と関心を一層深めていただくとともに、当館の主な業務である公文書の「評価選別」の重要性を広く知っていただければ幸いです。

令和3年12月

久喜市公文書館

過去に学び未来を見つめる

久喜市公文書館

埼玉県久喜市下早見85-1（久喜市役所西側）
☎ 0480-23-5010